

令和5年度 第1回大野市国民健康保険運営協議会 会議録概要

と き：令和5年7月6日（木）午後7時00分～8時30分
と ころ：結とぴあ 302号室

1 開会

2 あいさつ

3 会議録署名委員の選任

4 議題 報告事項

(1) 大野市国民健康保険事業の状況について（P1～P3）

【事務局説明】

【質疑応答】

委員 滞納に応じて資格者証や短期証を発行されると思うが、交付を受けた方の経済的な改善があった場合、完納する方はいるか。

事務局 完納される方も一定数おり、完納した段階で短期証から一般の保険証に切り替えたり、資格者証から短期証に切り替えている。

委員 対象者に対して年間督促や訪問を何回ほど行っているか。

事務局 督促状を発行しても連絡がない場合、短期証の発行から1か月ごとに来ていただくようになっている。回答がない場合には訪問や連絡をしている。状況が変わって国民健康保険から社会保険に切り替わっていることがわかった場合には、国民健康保険から切り替える手続きを案内している。

(2) 大野市国民健康保険事業特別会計令和4年度決算及び令和5年度予算について（P4～P5）

【事務局説明】

— 質疑応答無し —

(3) 保健事業について（P6～P15）

【事務局説明】

【質疑応答】

委員 後発医薬品について、かなりの薬剤が手に入らない状況である。正規品を使わざるをえない状況もあり、院内処方、院外処方によるものだけではないように思う。

事務局 製薬会社の事情で供給が追い付いていないということも承知している。後発医薬品の使用については保健事業の中で点数化されて、使用割合によっては加点され、別途県から交付金が交付されることになる。また、地域事情もあり、村部の医療機関はむずかしいことも承知している。できる範囲でのご協力をお願いしていきたい。

委員 糖尿病性腎症の重症化予防プログラムについて、このプログラムをすることに

よって、糖尿病性腎症の方の透析への移行がどれだけ予防されたかということが一番知りたいところであり、このような機会の時にデータを示していただきたい。

事務局 次回お示しする。

委員 保険者独自の取組で、ウォーキングの取り組みがあるが、今年で3年目か。
事務局 4年目である。

委員 この事業が大野市民の健康状態のレベルのアップにどの程度寄与できているか、何かの機会にお示ししていただきたい。

事務局 今後ウォーキングの参加者について医療費がどれくらい削減できたか等の検証をタニタヘルスリンクで行う予定となっている。

委員 計画については、PDCA サイクルで、経過がどのような形で進められたかとそれに対する検証が必要だと思うので、この会の中でお示しをいただけるとありがたい。

委員 保健事業の実施計画について、項目ごとに成果を出して各市をランク付けするような形で交付金額がかわってくるのか。

事務局 点数化して交付金がもらえるというものである。特定健診と保健指導の実施率以外は、取り組むことである程度交付金の対象となる。

委員 ウォーキングの事業について、最終的には医療費の削減が目標のような説明であったと思うが、若い方たちはそれほど医療費がかかっていないと考えられ、もっと違う観点から成果を出す形を検討されるとよいのではないかと考えている。

事務局 今は保健事業のウェイトが大きくなっている。国が医療費適正化の取り組みに重点をおいている。直接どのように医療費の適正化に結びつくかということについては、国保の一人当たりの医療費でしか比較することはできないが、若いうちから運動習慣をつけることで、長い目で見た時にはその成果が表れるのではないかと考えている。

(4) 和泉診療所の状況について (P 16)

【事務局説明】

— 質疑応答無し—

(5) 大野市国民健康保険税の見直しについて (P 17～P 18)

【事務局説明】

— 質疑応答無し—

— 報告終了—

5 その他

【今後の日程について事務局説明】

— 副会長 閉会のあいさつ—